

令和元年度 沖縄県移住・定住促進事業
中間支援機能拡大に向けた支援プログラム 第3回講義 要領

<目的>

移住促進のみならず、地域の活性化に向けて現在注目をされ、今後国の方針としても機能を強化する方向性にある「中間支援組織（機能）」について、その意義や役割を理解し地域内での活動内容共有に役立てていただくとともに、すでに全国および県内で立ち上がっている事例を学ぶことにより、自地域での中間支援組織立ち上げの参考にしていただく。

また、本プログラムを通じて県内の同様の立場の方たちとのネットワークをつなぐことで、今後情報提供や相互支援をしやすい状況を作るとともに、県外専門家と繋がることで、今後外部サポートを受けて組織立ち上げ・運営を進めるための基礎を作る。

<想定対象者>

- ・ 中間支援組織運営者、スタッフ（立ち上げ予定も可）
- ・ 地域活性化に関わる事業の責任者、担当者（立ち上げ予定も可）
- ・ 地方自治体職員
- ・ その他、講義内容に興味ある方はどなたでも参加可能です
※名前、所属、プログラムに参加したい理由をお聞かせください。

<開催概要>

日時：2020年2月26日（水） 10：00～17：30

場所：沖縄県立博物館・美術館 美術館講義室

（〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号）

※以下任意

- ・ 2月25日（火） 16:00～18:00 事前学習（内容は下記記載）
- ・ 2月26日（水） 18:30～21:00 懇親会

<プログラム参加費用>

- ・ 講座受講は無料
- ・ 現地までの交通費、宿泊費、食事代等は自己負担

<プログラム内容>

■2月26日(水)

【第1部】10:00～12:00

自治体と中間支援機能の理想的な関係性～宮崎県日南市・油津商店街再生の事例から～

講師：木藤亮太さん（(株)油津応援団 専務取締役）

田中靖彦さん（日南市役所 商工・マーケティング課）

宮崎県日南市で、「猫も歩かない」と言われた油津商店街の再生にテナントミックスサポートマネージャーとして取り組み、(株)油津応援団を発足して自らカフェをオープンさせたことを契機に、多くの市民の「まち」に対する気持ちと行動を引き出し、4年で29の飲食店、IT企業、保育園などの出店を実現した木藤さん。その活動の影には、日南市で生まれ育ち、市役所職員となった田中靖彦さんをはじめとした、自治体との連携した動きが鍵でした。今回は、地域づくりにおける中間支援機能の担い手と自治体との理想的な関係性について、日南市油津商店街の事例をもとに考えていきます。

【第2部】13:30～17:30

令和2年度に向けた各地域の中間支援機能確立に向けた戦略作り

- ・イントロ：油津の事例からの学び落とし込み（30分）
- ・セミナー：県内地域の次年度以降計画公開ブラッシュアップ
事例検討：3団体想定（各1時間）
→自地域紹介&プラン発表 15分、講師とのブラッシュアップ 45分
- ・ワーク：ブラッシュアップを受けて自地域プランの練り直し（30分）

【クロージング】17:30～17:45

- ・講師からのコメント
- ・名刺交換等

<※任意参加プログラム>

■2月25日(火) 16:00～18:00

- ・事前学習

講師の方と事前に情報共有をしたい方のための場をセッティングいたします。翌日の発表に向けた事前調整や、日南の事例を事前に詳しく聞きたい方（翌日の発表時間がタイトなため）のための時間としてご活用ください。

※18時以降も講師の方は予定を空けていただきますので、そのまま懇親に流れていただいても結構です。

■2月26日(水) 18:30~21:00

・懇親会

講師及び参加者同士の交流を図ることにより、互いの関係性を深め横のつながりを育む機会とします。

<講師紹介>

・木藤 亮太さん

福岡県那珂川町生まれ。元テナントミックスサポートマネージャー。宮崎県日南市が実施した全国公募により 333 人の中から選ばれ、2013 年7月より宮崎県日南市へ移住。テナントミックスサポートマネージャーとして、"猫さえ歩かない"と言われた油津商店街の再生事業に取り組み、約4年で 29 件の新規出店、IT 企業誘致などを実現。2017 年4月からは地元である福岡県那珂川町に戻り「事業間連携専門官」に着任。町内の様々なプロジェクトに関わり、官民産学などの壁を越えたコーディネーター的役割を担う。

・田中 靖彦さん

宮崎県日南市出身。日南市役所にて税務、管財、高齢者福祉、観光関係を経て、2015 年より現職。企業誘致担当として、油津商店街を中心に IT 関連企業を誘致。2016 年度からはローカルベンチャー事業担当として、創業の支援、移住者の支援、産業との人材マッチングなどを行っている。

<注意事項等>

■前泊及び後泊について

- ・宿泊については任意です。各自ご手配をお願いいたします。

以上